

今回は、
この現象からよみ取れることを
考えてみます。

宝物を手放す

私が、小学校から中学にかけて、
同級生は、
親が郊外に土地を購入して建てた住宅に
引っ越していきました。

その家によく遊びにも行きました。

それこそ、その家の周りは、
赤土に覆われていて、
現在は、そこに道路が整備され、
中には、
商業地も生まれ、
その発達に目を見張るばかりです。

そんな街の発達を
同級生の親にとっては、
また同級生にとっても
宝物を手放す相談が私のところに
来るようになったのです。

なぜそのような相談が来るようになったのか、

よく話を聞いていると
内面、その家庭特有の問題と
外面、大げさではなく世の中の動きから、
決断をされるようになったのです。

順に、見ていきましょう。

内面の問題

家庭の問題としては、

まず、子どもが親と同居できないことです。

子どもが、大学など進学先で、
ほかの地方に住み、
そこで、就職をして、
そこで家庭を作った場合です。

このような場合は、

その勤め先で、
年とともに責任も増していけば、
簡単に転職も出来ないでしょう。

また、地元に戻ってきて、
すぐに職を見つけることができるか、
そこも疑問です。

また、例え地元に戻ってくる事が出来ても、
自身が生まれ育った実家に、
子どもの家族と同居するには、
スペース的にも問題があるようです。

建物自体も、

建築後、数十年も経っていますので、
大規模な修繕が必要になることも考えられます。

その場合の費用が問題になります。

また、親自体も高齢になり、
住まいを管理していくことが、
厳しくなっていくことも事実です。

子供部屋に使っていた2階の部屋を、
現在は、物置に使っていたら、
年とともに、足腰が弱くなって、
2階に上がっていくのも億劫になる。
また、身体的にも困難になる。

短時間出かけるにしても、
家中、各部屋
しっかり戸締りをしていかななくてはならない。

また、地下鉄などが開通した地域はよいのですが、

自宅から買い物や繁華街までは、
バスに乗って行かなくてはならない場合、

自家用車を運転して移動するのが、
主流となり、
自ら高齢者ドライバーの問題を抱える。

このような、問題もあります。

外面の問題

外面の問題としては、

住まい自体の資産価値が低下していることです。

土地の売買の新聞の折り込みチラシで、
その物件に何か問題があるのかもしれませんが、

街中でも、
こんな値段で売買されるのと、
びっくりすることが多くなってきたことも事実です。

ましてや郊外の物件は、

私の目を見た限り
売値は下がっているようです。

残念なお話ですが、

折角建てた
思い入れのある建物が建っているままで、
特に築古の建物が建ったままでは、
売買価格も下がるようですので、
建物を解体して、
更地にして売却した方が良いでしょう。

決断がいる

現在、親の住んでいるところに、
子どもが住めるのであれば、
相続なども問題が生じるかもしれませんが、

当面、実家の維持に、
関する問題はなくなります。

子どもが住まないのであれば、
今まで住んでいた家を売却して

親は、交通の便の良い街中の
マンションなどに
引っ越すのもひとつの手でしょう。

街中に引っ越すにしても、
今まで住んでいた家は、
リフォームして、
家族向けの賃貸で貸すこともできます。

ただ、その場合は、
リフォーム費用が掛かります。

その費用を誰が出すか、

親は、自分たちが街中に引っ越すための費用で、
それ以上のお金は出せないかもしれません。

賃貸にする場合は、
親とその家を相続するのであろう子どもとが、

誰がリフォームの費用を出すのか、
親が亡くなった後のことまで
考えて結論を出すことが必要になります。

その家庭によって、
さまざまな結論が出てくるでしょう。

しかし、結論を先送りして、

資産価値が下がってから
検討する問題でないことは確かです。

*****:
■「人生の添乗員 (R) 」からのワンポイントメッセージ
*****:

親の住んでいる実家をどうするか？

今の時代、

親子で、早急に結論を出しておく問題です

*****:
■人生の添乗員 (R) 牧野寿和のプロフィール
*****:

日本で唯一「人生の添乗員 (R) 」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 16 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他の国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ (FP) 協会 CFP (R) 認定者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士 (資産設計提案業務)
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ〜テレ (名古屋テレビ) 「UP!」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない! 頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

なぜ、「人生の添乗員 (R)」なのか?

詳しいプロフィールはこちらから

http://www.makino-fp.com/documents/fpmakino_009.pdf

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員 (R)」どこまでも行きます。

相談者にとって、他人を気にすることなく、
ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

*:

■編集後記

*:

年老いた親が、

生活に不便な郊外から

街中に引っ越して住めばよいのか？

またここにも問題が生じます。

次回以降に、

考えていきます。

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしくお願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。

こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
